

2. 経費支出概要書（経費内訳）
 (1) 経営相談支援事業

島本町商工会
 (単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	90	2,250,000		90	2,250,000		0	
支援機関等へのつなぎ	12	120,000		12	120,000		0	
金融支援（紹介型）	4	120,000		4	120,000		0	
金融支援（経営指導型）	10	400,000		10	400,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	1	20,000		1	20,000		0	
資金繰り計画作成支援	3	60,000		3	60,000		0	
記帳支援	10	250,000		10	250,000		0	
労務支援	10	200,000		10	200,000		0	
人材育成計画作成支援	1	20,000		1	20,000		0	
マーケティング力向上支援	3	60,000		3	60,000		0	
販路開拓支援	40	800,000		40	800,000		0	
事業計画作成支援	5	250,000		5	250,000		0	
創業支援	4	80,000		4	80,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	6	120,000		6	120,000		0	
コスト削減計画作成支援	12	240,000		12	240,000		0	
財務分析支援	55	550,000		55	550,000		0	
5S支援	1	10,000		1	10,000		0	
IT化支援	2	40,000		2	40,000		0	
債権保全計画作成支援	1	10,000		1	10,000		0	
事業承継支援	3	60,000		3	60,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	10	50,000		10	50,000		0	
結果報告	90	900,000		90	900,000		0	
小 計	—	6,610,000	6,610,000	—	6,610,000	6,610,000	0	0

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	8	192,000		8	192,000		0	
金融窓口相談支援	10	240,000		10	240,000		0	
税務相談支援	7	182,000		7	182,000		0	
法務相談支援	6	144,000		6	144,000		0	
労務相談支援	3	72,000		3	72,000		0	
小 計	—	902,000	902,000	—	902,000	902,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	8,744,320	別紙事業調書【変更後】のとおり	8,744,320		0

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	906,300	別紙事業調書【変更後】のとおり	906,300		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		17,162,620		17,162,620		0

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更前】

事業名		手づくりコミュニティ市事業		新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業 の 概 要	事業の目的 (現状や課題をどのよ うな状態にしたいか)	<p>当該地域ではそれぞれ手づくり市を行っており、多くの手づくり作家が活動している。しかし、作家同士の交流や情報の交換などはそれぞれの個人的な範囲に留まり、広く活動の場や情報を求めている方が多い。</p> <p>この事業により、当該地域での手づくり作家の交流、活動への意欲拡充や創業へのステップアップ、開業による空き店舗の解消に貢献するとともに、手づくり市が地域のコミュニティの場として定着し、多くの人に参加してもらうことにより、商工業の発展にも寄与することを目的とする。</p> <p>また、地域でCB事業等を実施している方やCB予定者は潜在的に多くワークショップなどを行う場を求める声は多い。そういった方々の活動をPRして、発表・販売の場を提供することでCB起業家の増加、ひいては地域全体の活性化につなげることを目的とする。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>当該地域または近郊で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手づくり作家として活動している方 ●CB起業を考えている方 ●販路開拓をしたい商工業者 			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	<ul style="list-style-type: none"> ●「しまもと手づくりコミュニティ市」の認知度の高まりに比例し、出店者や来場者、周辺の事業所からも「手づくり市」の通年実施や開催回数の増加の要望が多く寄せられている。 ●広域連携での実施により、それぞれの地域での手づくり作家同士の交流が促進。セミナーやイベント等の情報交換により出店地域の拡大等の効果が得られているため、継続の要望が多い。 			
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月、12月に手づくり市を実施、のべ102店舗の参加があり、アンケートによる平均満足度は82%であった。 ・H31年度摂津市・茨木市との広域連携での実施により、手づくり作家同士の交流が促進され、当事業以外のイベントでも相互に出店がなされるなど、販路の拡大に役だっている。 ・H29年度より島本町福祉推進課よりイベントを同日で開催したいとの申し出があり、障害者週間ふれあいバザールinみなせと共にイベントを行った。今まで同日に島本町ふれあいセンターにて行われていたこのイベントが加わることにより、これまで手づくりコミュニティ市には足を運んでいなかった層の取り込みができた。 ・各種メディア（鉄道会社HP、フェイスブック、チラシ、町広報、J:COM等）を利用して積極的にPR活動をし、また事業を継続することで町内外での認知度が高まり、集客が増えている。 ・この事業がきっかけとなり発足、また定着しつつある町内商店街による毎月1回の手づくり市（第3土曜日、水無瀬マーケットプレイス）に加え、阪急水無瀬駅高架下の商店街空き店舗を利用し、毎月第3火曜日に手づくり市「しまもとマルシェ」が催され、空き店舗の活用と商店街の活性化に寄与している。また、水無瀬神宮にて「オーガニックマーケット」が始まり、H29年度12月よりは水無瀬神宮神徳館にて手づくり市「わきあいあい」が開始。令和元年度からは第三・土曜日と合わせて商店街内の事業者により「おかしのかびとプチマルシェ」が始まり、高い集客力を発揮している。 ・H30年度には、「しまもとママフェス」や町内商店街や企業と協力しての「クリスマスマーケット」が実施されるなど、これまでの取組により醸成されたものが確実に発展・展開をとげている。 			
	反省点	<p>手づくり市に限らずではあるが、午後からの人出が減るため集客のための仕掛けづくりが必要。</p> <p>創業希望者、創業に関心のある方を中心に、出店に関する優遇措置を行うなど、支援を厚くし、より地域での創業を促進していく必要がある。</p>			

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更前】

事業名		手づくりコミュニティ市事業		新規/継続	継続
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	(人材交流型) 連携市町にて、資質向上及び情報交換、交流をはかるため下記の通り実施する。			
	○ 人材交流型	①「販路開拓のための入門セミナー(仮)」 ●日程: 令和2年上半年期予定 ●場所: 茨木商工会議所 茨木市岩倉町2-150 立命館いばらきフューチャープラザ ●内容: 調整中			
	○ 販路開拓型	②「ブランド力向上! キャッチコピーセミナー(仮)」 ●日程: 令和2年上半年期予定 ●場所: 島本町商工会館 三島郡島本町百山4-1 ●内容: 集客やファン・リピーターづくりのためのブランディングを学びお客様に分かりやすく魅力を届けるためのキャッチコピーを作る。			
	ハズカ型	(販路開拓型) 連携市町で行う下記イベントに相互に出店を行う 「しまもと手づくりコミュニティ市」(出店各50件) ●日程: 令和2年6月・12月頃(2回実施予定) ●場所: 第1回目: 史跡桜井跡史跡公園 第2回目: 阪急水無瀬駅周辺の空き店舗等 ●内容: ・年2回の手づくり市の開催 ・地域コミュニティの創造、CB起業家や新規創業者を増やすきっかけをつくる。 ・今年度12月開催分は島本町の町制80周年記念事業とも合わせ、島本町農林業祭や百円商店街と同日開催予定。町内農・商業の活性化と集客につなげる。			
	独自提案型	「いばらきてづくり市in元茨木川緑地」(出店30件) ●日程: 令和2年9月19日(土) 予定 ●場所: 元茨木川緑地内 ●内容: 創業希望者や、創作意欲に富む作家が出展			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="checkbox"/> (a) 府施策連携 <input type="checkbox"/> (b) 広域連携 <input type="checkbox"/> (c) 市町村連携 <input type="checkbox"/> (d) 相談事業相乗効果		(b) それぞれの地域で活動する手づくり作家を各市町で行うイベントに相互出店させ、交流会を行うことで交流の促進と販路の拡大を図る。 (c) 島本町に後援依頼。町の広報誌や掲示板などを使った広報。町の担当課と会議を持ち情報交換・共有、島本町公式キャラの活用を行う。島本町福祉推進課と打ち合わせを行いイベントを12月に同時開催。集客の相乗効果を狙う。 (d) 支援した方の中から可能な限りカルテ化や専門家相談等につなげる。		
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	昨年実績(しまもと手づくりコミュニティ市出店数のべ102件 ※実数83件)の50%。		
		50	町広報・HP・Facebook・セミナーや手づくり市出店者へのDM等を通じて告知、募集。		
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→	いばらき手づくり市募集数のおよそ2/3。		
		20	茨木商工会議所HP等を通じて告知、募集。		
支援対象企業の変化	手づくり市への出店による売上。新規顧客の獲得や販路の開拓、また未創業者の創業への意識付け・意欲の向上が期待できる。				
	指標	創業へ意欲を示した出店者数		数値目標	21
その他目標値	目標値の内容→	来客数はH31年度しまもと手づくりコミュニティ市アンケート回答より、売上総額(約150万円)を商品単価(1000円とする)で除し、算出。			
	1500				

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更前】

事業名		手づくりコミュニティ市事業				新規/継続	継続		
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 25	連携地域を広げたため、目標値を前年度実績(15)よりおよそ60%増とした。 手づくり市出店者へのDM送付、創業者及び創業予定者、管内事業所へ勧誘。またHP・Facebook等を通じて募集。						
	支援対象企業の変化	幅広くSNSについて知り、ビジネスに活用できるようになる。 情報発信・PR力の強化と、低コストでの情報発信が可能になる。							
	指標	情報発信力が強化された事業者			数値目標	70%			
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 15	連携地域を広げたため、目標値を前年度実績(12)よりおよそ60%増とした。 手づくり市出店者へのDM送付、創業者及び創業予定者、管内事業所へ勧誘。またHP・Facebook等を通じて募集。						
	支援対象企業の変化	自身の商品・サービスについて理解し、分かりやすく顧客に伝えることができるようになる。ファン・リピーターの獲得につながる。							
	指標	ブランディングを理解できた事業者			数値目標	75%			
事業の目標	その他目標値	目標値の内容⇒							
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		人交	30,300 円 ×	25	×	1.00	=	757,500 円	
		人交	30,300 円 ×	15	×	1.00	=	454,500 円	
		販路販路	50,500 円 ×	50	×	1.20	=	3,030,000 円	
		販路販路	50,500 円 ×	20	×	1.00	=	1,010,000 円	
		販路販路	50,500 円 ×	1,500	×	0.01	=	757,500 円	
	⇒								
	(小計) 6,009,500 円								
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)							円	
	計 6,009,500 円								
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)	30300円→人材育成20200円と人材交流40400円の間を独自単価として設定。 セミナー後に交流会を実施することで、セミナーでの学びをより深める。								
算出額	①市町村等補助	円			交付市町村等				
	②受益者負担	円			負担金の積算				
	(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果		
	標準事業費	補助率			(①市町村等+②受益者負担)				
6,009,500 円 × 0.75 =		4,507,125 円		(円)					

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更前】

事業名		手づくりコミュニティ市事業		新規/継続	継続
補助金の団体配分 （「代」欄には、中核 団体または「リソク」で説 明する代表団体に○）	代	商工会・会議所名	配分額	役割（配分の考え方）	
	○	島本町商工会	2,537,625 円	島本町商工会は、幹事として企画調整 等を行う。 他商工会・商工会議所は相互にイベン トへの出店斡旋・広報・当日準備等を 協力する。 事後フォロー及び、カルテ化について は相談の上で分担する。	
		摂津市商工会	179,906 円		
		茨木商工会議所	1,685,438 円		
		高槻商工会議所	104,156 円		
		円			

※別添で補足する内容があれば添付してください。

（販路） 50500*件数*0.75

摂津市4件 ￥151500

高槻市2件 ￥75750

茨木市8件 ￥303000 +主催分17件 ￥643875

島本町1件 ￥37875 +主催分36件 ￥1818000

島本町 ￥568125

（人育・交流） 実施単会

茨木市 ￥568125

（販路/集客部分）

摂津・高槻・茨木・島本で5：5：30：60

￥28406：￥28406：￥170438：￥340875

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更後】

事業名		手づくりコミュニティ市事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		2011 年度～	年度まで	<input type="checkbox"/> ←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>当該地域ではそれぞれ手づくり市を行っており、多くの手づくり作家が活動している。しかし、作家同士の交流や情報の交換などはそれぞれの個人的な範囲に留まり、広く活動の場や情報を求めている方が多い。</p> <p>この事業により、当該地域での手づくり作家の交流、活動への意欲拡充や創業へのステップアップ、開業による空き店舗の解消に貢献するとともに、手づくり市が地域のコミュニティの場として定着し、多くの人に参加してもらうことにより、商工業の発展にも寄与することを目的とする。</p> <p>また、地域でCB事業等を実施している方やCB予定者は潜在的に多くワークショップなどを行う場を求める声は多い。そういった方々の活動をPRして、発表・販売の場を提供することでCB起業家の増加、ひいては地域全体の活性化につなげることを目的とする。</p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>当該地域または近郊で</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手づくり作家として活動している方 ●CB起業を考えている方 ●販路開拓をしたい商工業者 		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	<ul style="list-style-type: none"> ●「しまもと手づくりコミュニティ市」の認知度の高まりに比例し、出店者や来場者、周辺の事業所からも「手づくり市」の通年実施や開催回数の増加の要望が多く寄せられている。 ●広域連携での実施により、それぞれの地域での手づくり作家同士の交流が促進。セミナーやイベント等の情報交換により出店地域の拡大等の効果が得られているため、継続の要望が多い。 		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月、12月に手づくり市を実施、のべ102店舗の参加があり、アンケートによる平均満足度は82%であった。 ・H31年度摂津市・茨木市との広域連携での実施により、手づくり作家同士の交流が促進され、当事業以外のイベントでも相互に出店がなされるなど、販路の拡大に役だっている。 ・H29年度より島本町福祉推進課よりイベントを同日で開催したいとの申し出があり、障害者手づくり市に限らずではあるが、午後からの人出が減るため集客のための仕掛けづくりが必要。 		
	反省点	<p>創業希望者、創業に関心のある方を中心に、出店に関する優遇措置を行うなど、支援を厚くし、より地域での創業を促進していく必要がある。</p>		

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更後】

事業名		手づくりコミュニティ市事業		新規/継続	継続
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	(人材交流型)連携市町にて、資質向上及び情報交換、交流をはかるため下記の通り実施する。 ①「販路開拓のための入門セミナー(仮)」 ●日程:令和2年上半年予定 ●場所:茨木商工会議所 茨木市岩倉町2-150 立命館いばらきフューチャープラザ ●内容:調整中			
	○ 人材交流型	②「ブランド力向上!キャッチコピーセミナー(仮)」 ●日程:令和2年上半年予定 ●場所:島本町商工会館 三島郡島本町百山4-1 ●内容:集客やファン・リピーターづくりのためのプランディングを学びお客様に分かりやすく魅力を届けるためのキャッチコピーを作る。			
	○ 販路開拓型	(販路開拓型)連携市町で行う下記イベントに相互に出店を行う 「しまもと手づくりコミュニティ市」(出店各50件) ●日程:令和2年12月頃実施予定 ●場所:阪急水無瀬駅周辺の空き店舗等 ●内容: ・手づくり市の開催 ・地域コミュニティの創造、CB起業家や新規創業者を増やすきっかけをつくる。 ・今年度12月開催分は島本町の町制80周年記念事業とも合わせ、島本町農林業祭や百円商店街同日開催予定。町内農・商業の活性化と集客につなげる。			
	ハズカ型	「いばらきてづくり市in元茨木川緑地」(出店30件) ●日程:令和2年9月19日(土)予定 ●場所:元茨木川緑地内 ●内容:創業希望者や、創作意欲に富む作家が出展			
	独自提案型	「いばらきてづくり市in元茨木川緑地」(出店30件) ●日程:令和2年9月19日(土)予定 ●場所:元茨木川緑地内 ●内容:創業希望者や、創作意欲に富む作家が出展			
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	(a)府施策連携	○ (b)広域連携	○ (c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果	
		(b)それぞれの地域で活動する手づくり作家を各市町で行うイベントに相互出店させ、交流会を行うことで交流の促進と販路の拡大を図る。 (c)島本町に後援依頼。町の広報誌や掲示板などを使った広報。町の担当課と会議を持ち情報交換・共有、島本町公式キャラの活用を行う。島本町福祉推進課と打ち合わせを行いイベントを12月に同時開催。集客の相乗効果を狙う。 (d)支援した方の中から可能な限りカルテ化や専門家相談等につなげる。			
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	昨年実績(しまもと手づくりコミュニティ市出店数のべ102件 ※実数83件)の50%。 町広報・HP・Facebook・セミナーや手づくり市出店者へのDM等を通じて告知、募集。		
		60			
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	いばらきてづくり市募集数のおよそ2/3。 茨木商工会議所HP等を通じて告知、募集。		
		20			
支援対象企業の変化	手づくり市への出店による売上。新規顧客の獲得や販路の開拓、また未創業者の創業への意識付け・意欲の向上が期待できる。				
	指標	創業へ意欲を示した出店者数		数値目標	21
その他目標値	目標値の内容⇒	来客数はH31年度しまもと手づくりコミュニティ市アンケート回答より、売上総額(約150万円)を商品単価(1000円とする)で除し、算出。			
	1500				

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更後】

事業名		手づくりコミュニティ市事業				新規/継続	継続	
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→ 25	連携地域を広げたため、目標値を前年度実績(15)よりおよそ60%増とした。 手づくり市出店者へのDM送付、創業者及び創業予定者、管内事業所へ勧誘。またHP・Facebook等を通じて募集。					
	支援対象企業の変化	幅広くSNSについて知り、ビジネスに活用できるようになる。 情報発信・PR力の強化と、低コストでの情報発信が可能になる。				指標	情報発信力が強化された事業者	数値目標 70%
	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法→ 15	連携地域を広げたため、目標値を前年度実績(12)よりおよそ60%増とした。 手づくり市出店者へのDM送付、創業者及び創業予定者、管内事業所へ勧誘。またHP・Facebook等を通じて募集。					
	支援対象企業の変化	自身の商品・サービスについて理解し、分かりやすく顧客に伝えることができるようになる。ファン・リピーターの獲得につながる。				指標	ブランディングを理解できた事業者	数値目標 75%
	その他目標値	目標値の内容→						
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費
		人交	30,300 円 ×	25	×	1.00	=	757,500 円
		人交	30,300 円 ×	15	×	1.00	=	454,500 円
		販路販路	50,500 円 ×	60	×	1.00	=	3,030,000 円
		販路	50,500 円 ×	20	×	1.00	=	1,010,000 円
		⇒	50,500 円 ×	1,500	×	0.01	=	757,500 円
						(小計)	6,009,500 円	
						※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)	円	
						計	6,009,500 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)	30300円→人材育成20200円と人材交流40400円の間を独自単価として設定。 セミナー後に交流会を実施することで、セミナーでの学びをより深める。						
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等	円				
	②受益者負担	円	負担金の積算	円				
	(a)府施策連携	○	(b)広域連携	○	(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果	
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)					
	6,009,500 円 ×	0.75	=	4,507,125 円	(円)		
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体または「リッグ」で説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割(配分の考え方)				
	○	島本町商工会	2,537,625 円	島本町商工会は、幹事として企画調整等を行う。 他商工会・商工会議所は相互にイベントへの出店斡旋・広報・当日準備等を協力する。 事後フォロー及び、カルテ化については相談の上で分担する。				
		摂津市商工会	179,906 円					
		茨木商工会議所	1,685,438 円					
		高槻商工会議所	104,156 円					
			円					

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

島本町商工会

事業名

手づくりコミュニティ市事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

50

支援企業
数(実績)

0

支援
実績率

0.0%

【参考】
参加者数

42

理 由

【変更の経過と理由】

本事業の実施にあたり、その一部である販路開拓支援のための手づくり市（全2回中1回目）を島本町教育委員会の管理する史跡桜井駅跡史跡公園にて新型コロナ拡大防止策を十分に行ったうえで開催を予定し準備を進めていた。しかしながら、非常に強い勢力の台風10号の接近が予報されたため、急遽3日前に開催を断念。中止をすることとした。

【支援効果】

本事業に実施にあたり、SNS等での出店者の広報宣伝活動をおこなっていた。今回は出店者のSNSやEC販売情報等も宣伝することで、それを見たお客様からの問い合わせが実際にあるなど販路の開拓に役立った。

【今後の改善方策】

開催場所や時期について再検討を行う。
全2回中の2回目である12月開催予定の手づくり市を出店者数を増やして実施する。